

# 5部

オンデマンド・  
スクーリングのご案内



ビデオ収録したスクーリング講義を、自宅のパソコンで一定期間内の任意の時間に視聴し、その後掲示板で議論したり、小テストに答えたりすることによってスクーリング受講扱いとする「オンデマンド型スクーリング」を下記の科目について、実施いたします（締切を2回に分けて申込みを募ります）。

パソコンを自由に操作できることが受講の条件です（パソコン操作についてのサポートは一切できません）。特にワード（文書作成ソフト）やメール（添付ファイルの送受信）の操作ができることが条件となります。講義は、インターネットを用いた通信で行いますので、自宅に一定以上の速度の通信回線が必要になります。

◆印＝平成20年度以前入学者を受講対象とするスクーリング

★印＝平成21年度以降入学者を受講対象とするスクーリング

◆★印＝全学生を受講対象とするスクーリング

## 1 オンデマンド・スクーリング10＝11月16日締切分

対象	科目名	S単位	コマ数	講義回数	受講料
◆★	障害者福祉論	2	12	22	10,000円
◆★	法の基礎（日本国憲法を含む） ※1	2	12	22	10,000円
◆★	精神保健福祉論Ⅱ	1	6	10	5,000円
◆★	社会保障論	2	12	22	10,000円
	★ 社会福祉援助技術論A	1	6	10	5,000円

※いずれか1科目でも2科目でも3科目でも4科目でも5科目でも申込みができます。

※1 旧教科書によって行われる講義内容となりますので、ご了承ください。

### 1. 実施形態

スクーリング講義を1コマ2回（1回約40分）に分けてコンテンツを作成します。1コマ終了ごとに、web上の受講科目専用掲示板で発言した

り、何らかの小テストに答えたりすることが求められます。また、受講後に試験が課せられます（レポート試験を予定）。

## 2. スケジュール 詳細は受講者に連絡します

受講申込み締切 11月16日(水)正午

受講料納入期限 12月7日(水)

※本番が受講できることを確認した上で、納入してください。いったん納入した受講料は返金できませんので、ご了承ください。

初回講義閲覧開始日 11月22日(火)正午=全コマ分閲覧可能です。

試験レポート提出期限 12月24日(土)正午までに提出

## 2 オンデマンド・スクーリング11=11月30日締切分

対象	科目名	S単位	コマ数	講義回数	受講料
★	保健医療サービス論	1	6	10	5,000円
◆	福祉法学	2	14	24	10,000円
★	福祉法学	1	6	10	5,000円
★	更生保護制度論	1	8	14	5,000円
★	社会福祉援助技術論B	1	6	10	5,000円
◆	福祉計画法 ※1	1	6	10	5,000円
★	福祉行財政と福祉計画 ※1	1	6	10	5,000円

※いずれか1科目でも2科目でも3科目でも4科目でも5科目でも申込みができます。  
 ※1 社会福祉養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座10 福祉行財政と福祉計画（第二版）』中央法規出版、2010年 を使用します。

### 1. 実施形態

スクーリング講義を1コマ2回（1回約40分）に分けてコンテンツを作成します。1コマ終了ごとに、web上の受講科目専用掲示板で発言したり、何らかの小テストに答えたりすることが求められます。また、受講後

に試験が課せられます（レポート試験または会場試験を予定）。

### <◆福祉計画法・★福祉行財政と福祉計画>

6コマめの試験は、会場で受験していただきます。スクーリング試験は、第7回（1月）科目修了試験の実施会場で受験してください。

- ① 1/11正午までには、パソコン上での視聴・発言を終えてください。
- ② 1月科目修了試験会場で、同時に通常の科目修了試験を受験する場合は、通常の科目修了試験は3科目までのみ受験できます。このスクーリング試験は、60分で行います（持込可）。
- ③ 1月科目修了試験申込みハガキに「◆福祉計画法」または「★福祉行財政と福祉計画」を記入する必要はありません。もし、記入した場合は、オンデマンド・スクーリング試験以外に通常の科目修了試験として「◆福祉計画法」または「★福祉行財政と福祉計画」受験希望とみなします。
- ④ 通常の科目修了試験としての受験予定の科目がない場合は、1月科目修了試験申込みハガキの提出は不要です。
- ⑤ 1月のいずれかの科目修了試験日に通常の科目修了試験を受験し、1月の別の科目修了試験日に今回のオンデマンド・スクーリングの試験を受験していただいても結構です。  
(例) 1/21 福島でオンデマンド・スクーリング試験受験  
1/22 仙台で科目修了試験4科目受験
- ⑥ 1/21・22に東京会場で「カウンセリングⅠ」を受講する方は申込みできません。

## 2. スケジュール 詳細は受講者に連絡します

受講申込み締切 11月30日(水)正午

受講料納入期限 12月21日(水)

※本番が受講できることを確認した上で、納入してください。いったん納入した受講料は返金できませんので、ご了承ください。

初回講義閲覧開始日 12月7日(水)正午=全コマ分閲覧可能です。

試験レポート提出期限 1月11日(水)正午までに提出 (◆福祉計画法・★福祉行財政と福祉計画を除く)

## 3 オンデマンド・スクーリング10・11 共通の説明

### 1. スクーリング単位認定方法

講義視聴（1コマめから順序どおり視聴していただきます）+講義後の掲示板での発言・小テストの状況+スクーリング試験（レポート試験または会場試験）を総合的に判断します。なお、科目の単位認定には『レポート課題集』記載のレポート（または別レポート）の合格も必要です。

### 2. 受講申込み方法

- 1) 『学習の手引き』2011年版 p. 221～225, 2008補訂版 p. 165～169をよく読み、「オンデマンド型授業 デモ版（生涯発達心理学）」が視聴できるかどうか、ご確認ください。
- 2) ログインの際、最初に「BBSサーバー」をクリックすると出てくる年度は「2011」を使用してください。また、ユーザーIDには3桁めに「T」の入る7桁の学籍番号を入れてください。
- 3) デモ版を視聴できた方は、「オンデマンド型授業 デモ版」のディスカッション欄の「参加」ボタンをクリックし、授業の感想を必ず記入してください（以前に申し込んだことのある方も再度必要）。その際、掲示板の氏名をハンドル名に変更したい場合は、『学習の手引き』2011年版 p. 224, 2008補訂版 p. 168の「手順5 一般的な利用方法」を参照のうえ、「ハンドル名」を決定してください。いったん決

めた「ハンドル名」は変更しないでください。

※掲示板に発言が反映されるまで多少時間がかかる場合があります。

※前回までの受講者も、もう一度デモ版への発言をする必要があります。

4) ここまでできた方は、電子メール (uod[ここにアットマークが入る]tsukyo.tfu.ac.jp) に下記事項を記入して受講申込み締切日までに送信してください。申込み後、土・日・祝日を除いて3日以内に受理メールを送信しますので、必ず確認をお願いいたします。

なお、Yahooメールをご利用の方は、こちらの返信が“迷惑メール”扱いになることがあるようですので、あわせてご確認をお願いいたします。

#### ●メールの件名

受講希望科目名 (障害者福祉論・法の基礎 (日本国憲法を含む)・精神保健福祉論Ⅱ・社会保障論・社会福祉援助技術論A・保健医療サービス論・◆福祉法学・★福祉法学・更生保護制度論・社会福祉援助技術論B・◆福祉計画法・★福祉行財政と福祉計画) オンデマンド・スクーリング申込み

#### ●メール本文

下記①～⑥を箇条書きに記入してください。

①受講希望科目名 (障害者福祉論・法の基礎 (日本国憲法を含む)・精神保健福祉論Ⅱ・社会保障論・社会福祉援助技術論A・保健医療サービス論・◆福祉法学・★福祉法学・更生保護制度論・社会福祉援助技術論B・◆福祉計画法・★福祉行財政と福祉計画) オンデマンド・スクーリング申込み

②学籍番号                      ③氏名

④メール・アドレス (携帯電話のものは不可。受講するパソコンで送受信できるものにしてください。正確にご記入ください。)

- ⑤電話番号（早急に連絡がとれる番号を明記してください。）
- ⑥「◆福祉計画法・★福祉行財政と福祉計画」受講希望者は、『試験・スクーリング情報ブック2011』を参照して希望受験日時・開催地名をご記入ください。
- 5) 申込み後のくわしい手続きや試験実施方法は、申込み者に初回講義閲覧開始日までにご案内いたします。
- 6) 申込み締切日までに申込み科目の履修登録を完了していない方は、受講できません。
- 7) 期限までにスクーリング受講料の入金がない方は、納入期限以降の受講はできません。
- 8) 講義ボタンを押すことはできるが画像が出てこない状態は、「ポップアップ広告のブロック機能」によるものと思われます。『学習の手引き』2011年版 p. 223, 2008補訂版 p. 167をご覧ください。
- 9) 不測の事態により、サーバーの停止などがあった場合、復旧まで時間を要する場合があります。
- 10) オンデマンド・スクーリング受講を取消す場合は、オンデマンド係までメールまたはFAX（郵送可、電話不可）で必要事項を記入して申し出てください。ただし、いったん納入した受講料は返金できませんので、ご了承ください。

※オンデマンド・スクーリングは、『With』掲載内容をご了承いただいたものとみなし、お申込みをお受けいたします。

本件に関するご質問はオンデマンド係（uod[ここにアットマークが入る]tsukyo.tfu.ac.jp）までメールでお願いいたします。

## 9月卒業者アンケートより (2)

9月に卒業された方々からのメッセージです (p. 22にもあります)。

### ●科目修了試験の準備について

- ・科目修了試験は、国家試験のような引っかけ問題や、重箱の隅をつつくような問題は出ない。基本的に重要な部分をチェックして頭に入れることが大切。教科の中で何が重要なかを意識して、テキストを読むことかと思う。
- ・科目修了試験の準備としては過去問を参照し、自分でノートを作ると良いかと思います。

### ●実習中に苦労したこと、その克服方法、その他感想

- ・利用者の方との適切な距離をはかることが難しかった。施設の職員の方々とコミュニケーションをはかる、低姿勢でいることが必要だと思った。
- ・我慢 (24日間と思う) し、その場になじむような雰囲気をつくりました。
- ・実習をしていて制度の知識不足は強く感じました。
- ・毎日、実習記録を書くことに苦労した。特に「本日の実習課題」の設定に苦労した。高い課題設定でなく自分のできること、可能なことから設定してみた。自分だけで悩まず、まず相談してみる。
- ・事前準備に多くの時間を費やしたことで、自分は何を学びたいのかと明確に望んだこと。実習先の現状と指導者との対話で、できることできないこと等を、明らかにすることで、計画を立てたこと。
- ・実習の終了後、資格をとったら働きませんかと実習先から電話をいただき、とてもありがたかった。それを目標に過ごしていました。その後、合格見込でよいのでと誘っていただき、9月から実習先に転職しました。キャリアのある分野ならともかく、48歳にしてまったく初めての分野からお誘いをいただくなんて夢のようです。何としても国家試験合格したいです。

メッセージをお寄せいただいた卒業生の方々に厚く御礼申し上げます。